

絶滅寸前ザゼンソウとその環境の保全活動

活動地域 兵庫県但馬地方

つづける助成

3年目

実践

ザゼンソウ株調査数 250株

ザゼンソウ
エコ・ツアー 5人

今年度計画の達成度 60%

目標達成度 85%



ザゼンソウ 湿地周辺保全作業

課題

ザゼンソウは近年の異常気象や害獣の食害により生存個体が著しく減少している。また湿地の消滅や崩壊もザゼンソウの生存個体数の減少に影響している。

目標

絶滅寸前のザゼンソウの生息環境(湿地)が60%保全され、減少したザゼンソウ株が20%増える。また、保全継続のための団体組織運営を確立する。

活動内容と成果

- ザゼンソウの株数調査を専門家、連携団体、調査員インストラクター、ボランティアらにより実施し、250株(生息域面積調査実績90%)の残存株を確認した。また、参加者には保全マニュアルを渡し、活動運営を行った。継続運営のための保全インストラクター養成も実施した
- 普及啓発活動としてザゼンソウシンポジウムや保全啓発セミナー、写真展などを開催し延べ130人が参加。また、ザゼンソウ湿地見学ブッシュ・クラフト・エコツーリズムでは5人参加した



小ゲームでの保全活動・株数調査

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

新型コロナウイルス禍におけるセミナー、シンポジウム、保全活動等での人の集まり等における対応策と実践。

■工夫した点

保全活動等でも、できるだけ野外活動を中心としたり、5人ずつほどの団体に分け、時間差で実施するなど工夫した。またマニュアルを有効活用し、実保全作業の効率化を図った。



ザゼンソウ保全マニュアル

全助成期間の活動を振り返って

ザゼンソウ株数調査により株数や分布の確認ができ、自然・食害の原因が考察できた。これらを保全・歴史・保全啓発セミナーで参加いただき、保全の重要性を発信できた。ボランティア、連携団体の保全参加も促進した。また、その際、保全マニュアルの配布で、保全活動がスムーズに運営できた。多くの町民の参加を呼び掛けるつもりだったが、新型コロナウイルス禍において目標の75%にとどまった。

〒667-1511
兵庫県美方郡香美町小代区神水738
電話：0796-80-1521
E-mail: inouekameo1858@gmail.com
HP: inouekameo1958.wixsite.com/website

今後の
展望

助成終了後も地域連携組織が主体となり、継続的な保全を实地する。フォーラムも継続開催して、保全啓発に努める。また、新型コロナウイルス禍で振るわなかった地域の積極的参加においても、地道に継続PRは実施していく。これに伴い保全インストラクター養成も積極的に行っていく。これら、保全活動はWEB等でもわかりやすく発信し、連絡体系等もLINE等で事務局参加者間のスムーズな対応を構築し継続保全をしていく。